

令和7年1月4日(土)第13回日本公衆衛生看護学会学術集会ワークショップ3-2

令和6年能登半島地震の新任期保健師が直面した現場の実態と課題から考える組織のサポートと平時からの備え

石川県能登北部保健福祉センター

健康推進課長 新谷アサ子

演題発表に関連し、開示すべき COI 関係にある企業・組織および団体等はありません

能登北部保健福祉センター管内の概要



市 町	推計人口(R5.10.1)		老年人口 (65歳以上) 割合	出生数 (令和4年) (人口千対)
	総 数	世帯数		
石川県	1,109,574	475,101	30.1	7,075(6.4)
能登北部計	55,666	24,095	50.9	203(3.6)
輪島市	22,101	9,345	48.8	78(3.4)
珠洲市	11,817	5,306	53.1	44(3.6)
穴水町	7,363	3,205	50.1	30(4.0)
能登町	14,385	6,239	52.6	51(3.5)

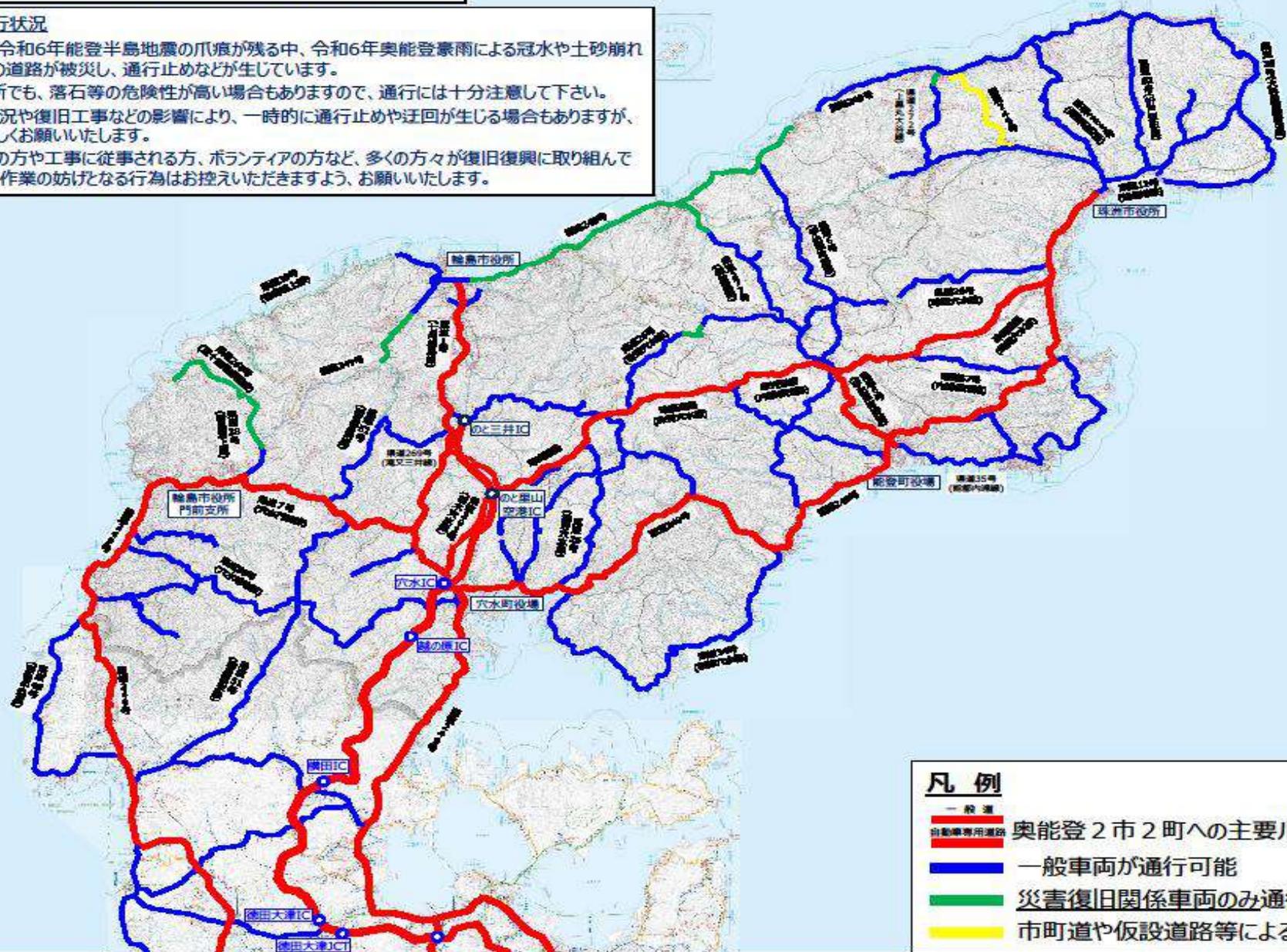
資料: 石川の人口と世帯、人口動態統計総覧

奥能登2市2町の「通れるマップ」

令和6年12月13日15時時点

奥能登の道路通行状況

- ・能登地域では、令和6年能登半島地震の爪痕が残る中、令和6年奥能登豪雨による冠水や土砂崩れなどにより、多くの道路が被災し、通行止めなどが生じています。
- ・通行可能な箇所でも、落石等の危険性が高い場合もありますので、通行には十分注意して下さい。
- ・今後も、気象状況や復旧工事などの影響により、一時的に通行止めや迂回が生じる場合もありますが、ご理解の程よろしくお願い致します。
- ・地域にお住まいの方や工事に従事される方、ボランティアの方など、多くの方々が復旧復興に取り組んでおられますので、作業の妨げとなる行為はお控えいただきますよう、お願いいたします。



凡例

- 一般道
- 自動車専用道路
- 奥能登2市2町への主要ルート
- 一般車両が通行可能
- 災害復旧関係車両のみ通行可能
- 市町道や仮設道路等による迂回路

能登北部保健福祉センター内や周囲の様子



令和6年能登半島地震の概要

- ・ 発生時刻：令和6年1月1日16時10分頃
 - ・ 震源地：石川県能登地方（震源の深さ約16Km）
 - ・ 震源の規模：マグニチュード7.6
 - ・ 管内市町の震度：輪島市（震度7）＊観測史上7回目
珠洲市、穴水町、能登町（震度6強）
- ◎石川県能登地方で大津波警報が発表され、金沢の観測点で80cmの津波、能登町で最大痕跡高4.7mを観測
- ◎能登群発地震(令和4年12月以降)では令和6年5月5日マグニチュード6.5
珠洲市で最大震度6強を観測した。令和5年末までに最大震度1以上506回
令和6年1～2月最大震度1以上1702回、6月3日M6.3、11月26日M6.6

令和6年能登半島地震の概要

【令和6年12月17日現在】

- 1 人的被害 奥能登4市町 死者404人、うち災害関連死184人
- 2 住家被害 奥能登4市町 全壊4,690棟、半壊8,275棟、一部損壊12,221棟
- 3 交通 のと里山海道 2024年7月17日一部を除く全区間で対面通行可能
のと鉄道七尾線 全線開通2024年4月6日
- 4 避難所 奥能登4市町 6か所34人
- 5 建設型仮設住宅 5,660戸完成 残り58戸

能登北部保健福祉センターの常勤保健師数 9人 (令和6年1月1日現在)

年代別では20歳代2人、30歳代2人、50代以上5人
経験年数では10年未満が約半数を占める。

保健福祉センター全体で常勤職員33人

年代別では20～30歳代12人、40代以上21人

職種別では医師(兼務)1人、獣医師1人、薬剤師・化学職6人、臨床検査技師2人、保健師9人、
管理栄養士1人、相談員(精神、生活保護等)5人、事務職5人、その他3人

令和6年能登半島地震の新任期保健師が直面した現場の実態

【報告】

- 現場の状況、何に困ったか、どうしたらよかったか
- 新任期保健師の困りごと

【追加】

管理期保健師としての困ったこと、悩んだこと



令和6年能登半島地震の新任期保健師が直面した現場の実態

現場の状況や困ったこと、工夫したこと

- 1 登庁できない状況が1月4日まで続いた。
 - ・震災後、職場までの道路は通行止めとなり地震と雨天が続いた
- 2 1月5日路面の悪条件、大渋滞の中の長時間移動を伴う業務
- 3 職場では睡眠や休息は難しかった。
- 4 野菜類の摂取が難しい



令和6年能登半島地震の新任期保健師が直面した現場の実態

新任期保健師の困りごと

- 1 情報の集計や共有の集約方法が確立していない
- 2 通信機器(Wifiルーターや業務用スマホ等)
- 3 持ち出しPCやタブレット
- 4 実効性のあるマニュアルやアクションカードがほしかった
- 5 あってよかった生活用品
 - ・ 就寝時、寝具の下に敷く断熱剤やマット
 - ・ 寝袋
 - ・ 冬季用外套
 - ・ 両手がフリーになる懐中電灯



令和6年能登半島地震

管理期保健師としての困ったこと、悩んだこと

【課員の業務管理・健康管理】

- 連泊を伴う市町リエゾン業務の依頼
- 複数配置できない
- 週休2日にできない
- 長距離通勤者への負担
- 継続する長時間労働
- 先が見えない災害対応
- 精神的負担の軽減策



災害を想定した保健活動の在り方

表 24 保健活動に関する災害準備 30 項目チェックリスト



表 24 保健活動に関する災害準備30項目チェックリスト

分類	チェック	項目
体制整備	<input type="checkbox"/>	災害時の自組織の体制は整備しているか
	<input type="checkbox"/>	統括保健師等を配置しているか
	<input type="checkbox"/>	地域防災計画に災害時の保健所の役割や保健活動（マニュアル）は位置づいているか
	<input type="checkbox"/>	自治体独自の災害時活動マニュアルやアクションカードは作成しているか
	<input type="checkbox"/>	初動時のアクションカードを用いた訓練は実施しているか
	<input type="checkbox"/>	活動に必要な資機材は準備しているか
受援・派遣	<input type="checkbox"/>	保健医療活動チームの連絡窓口を設置しているか
	<input type="checkbox"/>	応援業務計画を作成しているか
	<input type="checkbox"/>	保健師等チーム・DHEATの名簿作成、所属との調整はしているか
安全確保	<input type="checkbox"/>	耐震性・安全性の確保されている活動拠点はありますか
	<input type="checkbox"/>	災害時を想定した職員の緊急連絡網は整っているか
	<input type="checkbox"/>	職員の参集計画は整っているか
連携	<input type="checkbox"/>	災害対策本部との連携体制は整っているか
	<input type="checkbox"/>	他の自治体と保健活動に関する災害時相互応援協定は締結しているか
	<input type="checkbox"/>	災害時の関係機関（医師会等）との連絡体制は整っているか
	<input type="checkbox"/>	都道府県－保健所－市町村間、近隣市町村間の連携体制は整っているか
	<input type="checkbox"/>	災害医療コーディネーター、災害拠点病院等との連携体制は整っているか
	<input type="checkbox"/>	避難所・福祉避難所の設置・運営側との連携体制は整っているか
アセスメント	<input type="checkbox"/>	各種災害における地域の脆弱性は評価しているか
	<input type="checkbox"/>	活動に必要な都道府県内で統一された記録用紙は準備しているか
	<input type="checkbox"/>	保健医療ニーズを分析する体制は整備しているか
地域づくり	<input type="checkbox"/>	ソーシャルキャピタルの醸成や活用を図っているか
	<input type="checkbox"/>	地域住民への減災教育は行っているか
	<input type="checkbox"/>	避難行動要支援者の避難行動計画の作成・関係者と協力関係を構築しているか
スキル	<input type="checkbox"/>	過去の災害活動からの学びを自組織で共有・伝承しているか
	<input type="checkbox"/>	災害時の保健活動に関する研修を受講しているか
	<input type="checkbox"/>	クロノロジー、情報収集様式を記載できるか、EMISの入力ができるか（保健所のみ）
	<input type="checkbox"/>	災害時の被災者に対する保健指導・栄養指導等が行える能力は備えているか
	<input type="checkbox"/>	災害時の防疫対策が行える能力は備えているか

災害を想定した保健活動の在り方

表 24 保健活動に関する災害準備 30 項目チェックリスト

- 1 自治体独自の災害時活動マニュアルやアクションカードは作成しているか
- 2 活動に必要な資機材は準備しているか
- 3 職員の参集計画は整っているか
- 4 避難行動要支援者の避難行動計画の作成・関係者と協力関係を構築しているか
- 5 過去の災害活動からの学びを自組織で共有・伝承しているか

表 24 保健活動に関する災害準備30項目チェックリスト

1 自治体独自の災害時活動マニュアルやアクションカードは作成しているか

- 実効的な活動を行うためには、マニュアルやアクションカードを早急に再検討する
- 現在、石川県の「災害時の健康管理活動マニュアル」改訂作業中
- 当課の要支援者リストを洗いなおし、活用方法を再検討した
- 受援に必要な資料(基礎情報・保健活動支援ニーズの資料や様式など)を追加予定

表 24 保健活動に関する災害準備30項目チェックリスト

2 活動に必要な資機材は準備しているか

- デジタル通信機器・OA機器・資料や様式の要望をあげる
- 休憩室の設置を要望する
- 個人として、必要な物品の準備



表 24 保健活動に関する災害準備30項目チェックリスト
3 職員の参集計画は整っているか

- 職場に出務できないと判断した場合を想定し、職場外からアクセスできるデータの保管場所を再検討する



表 24 保健活動に関する災害準備30項目チェックリスト

4 避難行動要支援者の避難行動計画の作成・関係者と協力関係を構築しているか

- 難病患者等の要支援者対象者の救援体制の検討
災害前の一時入院を要する事例
市町の避難行動計画策定への協力

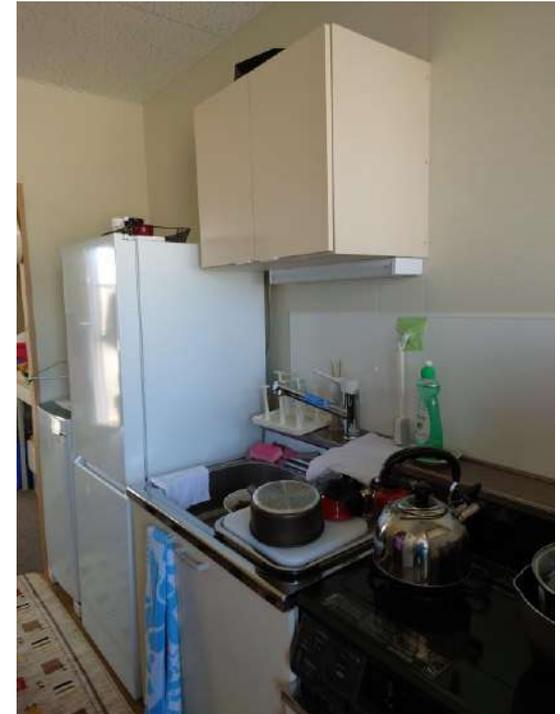


表 24 保健活動に関する災害準備30項目チェックリスト

5 過去の災害活動からの学びを自組織で共有・伝承しているか

- 令和5年5月の珠洲市を中心とした地震以後、4市町と情報共有するため連絡会を開催した
地域保健関係者研修会～災害時の保健活動～（令和5年7月31日）
能登半島地震の被災地保健活動に係る連絡会（令和6年6月19日）
能登半島地震中長期派遣保健師連絡会（令和6年9月15日）など
- 新任期保健師と情報共有やふりかえりの場を設けた

今回の大規模災害への対応に、多くの皆様からの
応援支援を賜り、本当にありがとうございました。
この経験を踏まえ、この先に大規模災害が起こるで
あろうとところに据え、実効性のある体制整備と平時
の訓練等の検討に取り組んでいきたいと思えます。

ご清聴ありがとうございました。